

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

企業就労を通じて自立と社会参加を促進し、社会に貢献できる人材を育成する学校。

- 1 生徒の人権を尊重し、個々のニーズをふまえた教育実践を進め、企業就労と社会貢献を実現させる学校。
- 2 地域社会や企業、関係機関との幅広い連携や交流を充実させ、生徒が主体的に社会に参加できる力を育てる学校。
- 3 教員の専門性を高め、社会の変化や多様性を踏まえた組織を構築することで、職業教育の充実を図り「働き続ける力」を伸ばす学校。

2 中期的目標

1 社会的自立に必要な力を養うための特色ある**教育活動の充実**

- (1) 新学習指導要領をふまえた教育課程により、確かな学力をはぐくむための「主体的で対話的な深い学び」を軸に授業改善に努める。
※学校教育自己診断の「授業中に発言や発表することがある」の項目では生徒の肯定率を80%以上にする。(R1:62.1%、R2:80.7%、R3:75.6%)
- (2) キャリア教育の観点からの自立活動を充実させることにより、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導、支援を図る。
※高等支援学校における適切で有効な自立活動を実施し、専門人材の活用など効果的かつ効率的な指導、支援を行う。
- (3) 生徒の自己肯定感を高め、自己実現と働き続ける力を育成するための「進路学習・進路指導」を推進する。
※全生徒に学校生活を大切にしたい規則正しい生活習慣が定着し、豊富な実習体験により適切で効果的なジョブマッチングを重視した進路指導を行い、高い就労率と定着率を維持し、アフターフォローを重要視する。定着率100%をめざす(再雇用含む)(R1:93%、R2:97%、R3:96%)
- (4) 1人1台端末の効果的な活用とICTを活用した授業等の推進に努める。
- (5) 生徒会活動の充実、高等支援学校や高校(高等部)とのスポーツ交流機会の拡大とクラブ活動の活性化を図る。

2 高等支援学校教員としての**資質の向上**とこれからの時代の変化に対応できる**学校組織力の向上**

- (1) 教員全員の指導力、授業力の向上を組織的に推進し、社会の変化に対応できる「学び続ける」教職員の育成をめざす。
- (2) 生徒への適切な指導実践を行うために、教職員一人ひとりが人権意識をより高め、障がいの理解や支援方法などについての専門性向上を図る。
※学校教育自己診断の「担任の先生に、困っていることや、悩みを話せる」の項目で令和4年度には肯定率80%達成をめざす。(R1:71.3%、R2:77.3%、R3:77.8%)
※令和6年度には支援学校教員免許の所有率80%以上をめざす。(本校籍教員R1:47.6%、R2:61.9%、R3:69.2%)
- (3) 教員間の意思疎通を図り、経験年数の少ない教員への手厚い支援や健全な同僚性のもと、積極的に学校経営に参画する仕組みを整え、組織力を向上させる。
※学校教育自己診断の「学校組織」での全項目(特に「経験年数の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取れている」項目)で令和5年度には肯定率70%以上とする。(上項目R1:52.3%、R2:50.0%、R3:58.5%)

3 地域や関係機関、企業との**連携や交流を充実**させるとともに、積極的に情報を発信し本校の教育活動への**理解啓発**を推進

- (1) 地域社会の中で積極的に活動し豊かに生きるために、交流及び共同学習の充実や地域活動への積極的参加で連携を図り相互理解を深める。
※地域の様々な機関等との連携により、校外での販売学習の機会増を図る。
- (2) 本校の様々な教育活動を積極的に外部発信するなど広報活動の充実により地域、企業との連携を深める。
- (3) 危機管理体制の充実と地域との連携により防犯・防災教育を行い、「主体的に行動する態度」と「共助」に関する意識の向上をめざす。
- (4) グローバル化や情報化をはじめとした社会の加速度的な変化に対応するため、国際理解教育、国際交流を推進することで、国際的な視野を育むとともに、これからの時代に生きる力を育成する。

4 校務の効率化による働き方改革

- (1) ワークライフバランスを意識した働き方改革を推進するとともに、業務分担の適正化を図る。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 特色ある教育活動の充実	<p>(1) 新学習指導要領を心まえた教育課程による「確かな学力」を育むための授業改善</p> <p>(2) 自立活動の充実とニーズに応じた適切な指導・支援</p> <p>(3) 自己実現と働き続ける力を育成するための「進路学習・進路指導」を推進</p> <p>(4) 1人1台端末の効果的な活用とICTを活用した授業等の推進</p> <p>(5) 生徒会活動の充実とスポーツ交流会の拡大やクラブ活動の活性化</p>	<p>(1) ア 新学習指導要領を心まえ、新シラバスに沿った指導ができたか検証し、充実した教育活動を行う。</p> <p>(2) ア 生徒の実情に応じた自立活動に関する研修の充実 イ 専門人材の活用推進 ウ 昼休みに相談窓口を設置し、日常的、組織的、計画的に気軽に相談できる体制を継続する。 エ 安心・安全の保障 コロナ対応を継続する。 オ 規則正しい生活習慣への意識を向上させる。そのために家庭と連携した遅刻指導を徹底する。</p> <p>(3) ア 職場開拓 イ 企業への広報活動の充実 ウ 計画的なキャリア教育 エ 校内外進路学習、企業実習の充実 オ 保護者や外部への十分な進路情報の発信 進路指導日より、PTA 研修会・見学会、ホームページの充実</p> <p>(4) ア オンライン学習体制の推進 イ 電子黒板を活用した授業の充実</p> <p>(5) ア 大会等への積極的参加 イ クラブの活性化 ウ 生徒会（委員会等）活動の充実</p>	<p>(1) ア・毎月の教科・学科会議にてシラバスや授業内容の確認を継続 ・授業の改善等のための教科会を毎月実施 ・学校教育自己診断 「意見を伝える、発表することがある」肯定率 80%以上 [75.6%]</p> <p>(2) ア・自立活動に関する教員研修2回/年 [2回] イ スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの積極的活用年46回以上 [46回] ウ・学校教育自己診断 「担任の先生に悩みを相談できる」「担任の先生に困っていることを話せる」肯定率 80%以上 [77.8%] エ・感染症予防に関する指導の徹底 ・生徒保健委員会で手指消毒、咳エチケット、マスク着用、換気、教室の消毒を推進 オ・年間遅刻総数の減少 200未滿 [245] ・校門での登校指導、下校指導の徹底</p> <p>(3) ア・進路指導部を中心に効率的な職場開拓を実施(長期休暇中に全教員一人1回以上/年) [約7割が1回以上/年] イ・企業への説明会、見学会実施3回/年[2回/年] ・個別の見学会実施20件/年をめざす[個別見学15件/年] ウ・1学年での指導の徹底のため、実習参加に向けた「学校生活振り返りシート」の活用 エ・就労や社会参加につながる企業実習を2年修了までに4社以上達成者4割 [2年生3割] ・教員研修3回/年 [2回/年] オ・学校教育自己診断 「学校以外の相談機関の情報を学校から入手できる」肯定率 85%以上 [81.6%]</p> <p>(4) ア・全授業で一斉または個別学習に対応できているか、公開研究授業週間等を利用して確認。 ・1人1台端末を活用した授業を全教員10回/年実施。 イ・研究授業は可能な限り電子黒板、1人1台端末を活用2回 [実績なし] ・電子黒板、1人1台端末を活用した公開授業12人/年 [10人]</p> <p>(5) ア・感染症予防を念頭に置きつつ高等支援学校リーグ戦、府代表レベル、全国レベルの大会出場。 ・障がい者スポーツや文化芸術活動に積極参加。 イ クラブ加入率80%以上 [76%] ウ・生徒委員会活動を大阪府レベルで発信</p>	

2 高等支援学校教員としての資質の向上と学校組織力の向上	<p>(1) 指導力・授業力の向上</p> <p>(2) 人権意識と専門性の向上</p> <p>(3) 経験年数の少ない教員への支援と積極的な学校経営参画と組織力向上</p>	<p>(1) ア 新転任者を対象とした校内外研修の充実</p> <p>イ 公開研究授業週間の充実</p> <p>ウ 高等支援学校のミッションの理解</p> <p>(2) ア 人権意識、コンプライアンス意識の向上を図るとともに、コロナ禍における偏見や差別、風評被害などのない教育活動を徹底</p> <p>イ 専門性の向上</p> <p>ウ 教員がビジネスマナーを習得する (教員の授業に応じた身だしなみ、言葉づかい、TEL 対応等徹底)</p> <p>(3) ア 人材育成の推進 ・ミドルリーダーの育成 ・新転任者、経験年数の少ない教員への支援</p> <p>イ 組織的・継続的な人材の育成 ・企画委員会の充実</p>	<p>(1) ア・新転任研修の充実のため、首席、指導教員による事例を活用した研修を実施 10 回/年 [7 回/年]</p> <p>イ・公開研究授業週間 2 回/年実施を継続 [2 回/年] ・他の全高等支援学校説明会への参加 [1 校/年] ・教員相互参観各自 3 授業 2 回以上</p> <p>ウ・オープンスクール、学校見学会、高等支援学校研修会で新転任者が説明 [実施なし]</p> <p>(2) ア・人権研修 3 回/年 (同和問題、体罰防止、卒業後の生徒支援関係) ・日常的な授業観察を通して教員間、対生徒への丁寧な言葉遣いの徹底 ・SNS 等インターネット上に係る差別やいじめに関する研修実施 1 回/年 [1 回/年] ・個人情報の扱いに対し、教職員の意識向上とセキュリティポリシーの遵守の研修 1 回/年 [1 回/年]</p> <p>イ・支援学校免許取得本校籍 80%以上 [69.2%] ・障がい理解研修 2 回/年</p> <p>ウ・ビジネスマナー研修 2 回/年 [2 回/年]</p> <p>(3) ア・首席による OJT、教育庁の研修等活用 ・パティ制 1 回/月、ファミリー制 1 回/2 か月実施の徹底 ・学校教育自己診断 「経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制が取れている」肯定率 70%以上 [58.5%]</p> <p>イ・職員会議後の時間を活用して研修参加教員の伝達講習実施 10 回/年 ・企画委員会で将来構想を 1 回/月議論 ・学年主任会 1 回/週 ・学校教育自己診断 「教職員は、学校の運営や改善に役立つよう積極的に意見や考えを発信している」肯定率 75%以上 [68.3%]</p>	
------------------------------	---	--	---	--

3 地域や関係 企業との連携や交流の充実と理解促進の推進	<p>(1) 積極的な地域活動参加と啓発活動の推進</p>	<p>(1) ア 地域行事への積極参加 イ 関係機関との連携 ウ コロナ禍でできなかった共生推進教室設置校との連携を進め、生徒間、教職員間の交流の機会を増やす。</p>	<p>(1) ア・3回以上/年参加 イ・関係機関との懇談、連絡会5回/年 ウ・スクーリング時での共生担当者による自立活動の授業の実施 [実績なし] ・共生推進設置校への教員派遣6回/年 [1回/年] ・本校生徒と共生生徒との学科交流会2回/年 [1回/年] ・設置校教員に向けた障がい理解研修実施 1回/年 [実績なし] ・共生スクーリング紹介映像の完成</p>	
	<p>(2) 広報活動の充実</p>	<p>(2) ア 本校の教育活動の発信 イ ホームページの更新と充実 ウ 視察、見学の受け入れや参加 エ 行事、授業等の積極的公開</p>	<p>(2) ア・中学校中学部教員向け「高等支援学校説明会」の実施2回/年(オープンスクール、学校見学会除く) [1回/年] ・新しい学校案内(職員室前校内掲示)の作成 ・学年通信(各学年)毎月発行 ・保健だより毎月発行 イ・全教員各自2回/年ブログUP(計画書作成) [年63回] (3/4現在) ・校長ブログの充実2回/週UP [年87回] (3/4現在) ウ・積極的に受け入れ、5回/年以上、他校等視察2回/年 エ・中学校、中学部を対象とした行事公開を実施 ・中学生対象の体験授業を夏季休業中に実施</p>	
	<p>(3) 防犯・防災学習の充実</p>	<p>(3) ア 生徒向け防災学習の充実 イ 避難場所、避難所の確認徹底 ウ 備蓄品の充実と活用に向けた検討</p>	<p>(3) ア・防災学習3回/年 [3回/年] ・教育支援クラウドサービスを利用した災害時における生徒の安否確認訓練の実施 イ・マニュアルの確認改訂、防災計画に基づいた配備態勢など周知徹底、教職員防災必携の確認と常時携帯(学習会実施) ・摂津市防災委員との連携校内見学1回/年 ウ・PTAと連携した備蓄品の検討 ・学校祭で備蓄品紹介</p>	
	<p>(4) グローバル人材の育成</p>	<p>(4) ア 国際理解教育推進 イ 台湾への研修旅行の計画実施(海外研修旅行が無理な場合は国内で国際交流可能な場所を設定)、事前事後学習の充実</p>	<p>(4) ア・T-NET、外部講師(留学生等)を招いた国際交流授業15回/年 [10回/年] イ・当該学年の事前交流実施2回/年 [実施できず] ・令和5年度以降の海外研修旅行実施に向けた検討</p>	

府立とりかい高等支援学校

<p>4 校務の効率化による働き方改革</p>	<p>(1) 働き方改革の推進と業務分担の適正化</p>	<p>(1) ア 在校等時間管理及び健康管理 毎週金曜日の「全校一斉退庁日」の徹底</p> <p>イ 組織改編後の円滑な業務遂行を確認</p> <p>ウ 職員会議による情報共有や職員研修を通じたよりよい職場環境づくりの推進</p>	<p>(1) ア・長時間勤務の縮減をめざし定期的な声かけを実施 ・時間外勤務 45H 超教員へ状況通知 1 回/月 ・80H 超0人をめざす [延べ3人/年]</p> <p>イ・校長の学校運営に関するシートの項目好評価 80%以上 [80%]</p> <p>ウ・職員対象クリーン大作戦実施3回/年 [3回/年] ・ストレス度チェック指数 90 台 [90] ・学校教育自己診断「教員がどんなことでも気軽に話し合えるような職場の人間関係が出来ている」項目 肯定率 70%[61.0%]</p>	
-----------------------------	----------------------------------	---	---	--